

さんとぴあ号



宇陀市介護老人保健施設 さんとぴあ榛原

奈良県宇陀市榛原萩原801-1 TEL:0745-85-2525

令和6年9月号



虚血性腸炎のはなし



高齢者の増加に伴い、時々、突然の腹痛を伴う下血を呈する方を診ることがあります。結構大量の出血で、大腸癌をはじめとする重篤な状態を心配することもあります。比較的軽微に改善する虚血性腸炎であることがあります。

「虚血性腸炎」とは、大腸への血液の流れが一時的に悪くなり、循環障害によって起こる大腸炎のことです。血管と腸管の要因がそれぞれ複雑に関与し発症します。血管の要因は、高血圧、糖尿病、虚血性心疾患などの生活習慣病や動脈硬化性疾患が危険因子とされています。腸管の原因としては、便秘が最も多いです。強く気張った時に腹圧がかかり、大腸粘膜への血流が低下します。また、食事後に消化吸収を行うため、大腸が活発に動いている時や精神的ストレスなども、虚血発生の誘因になるとされています。高齢者が多いですが、若年者にも起こり、性別は女性に多いです。

症状は、腹痛、下痢、血便で急に発症します。急に左下腹部痛が起こり（冷や汗や吐き気を伴うこともあります）、その後下痢をきたし、次第に便に血液が混じるようになります。大腸の中でも、S字状結腸から下行結腸にかけての左側大腸に多く発生します。診断には、大腸内視鏡検査や腹部CT検査などが行われますが、大腸に特徴的な粘膜のむくみ、発赤やびらん（タダレ）、潰瘍を認めれば診断は容易です。虚血性大腸炎と似たような症状を起こす病気に、薬剤性腸炎、感染性腸炎、大腸憩室炎、潰瘍性大腸炎、クローン病などがあり、これらの病気を除外する必要があります。

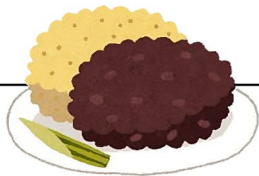
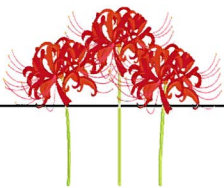
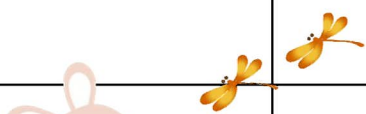
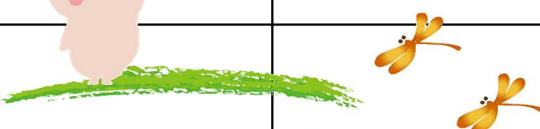
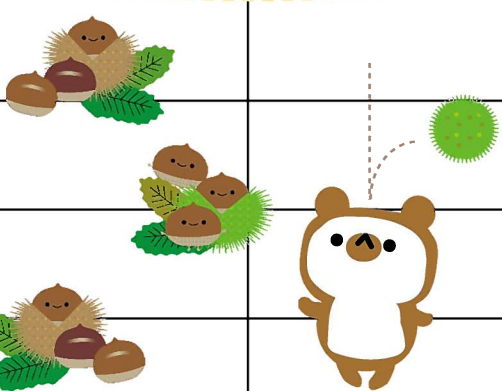
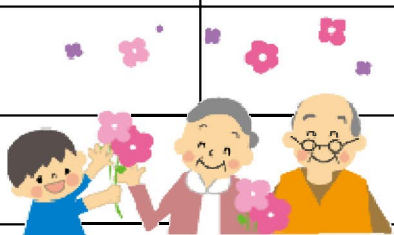
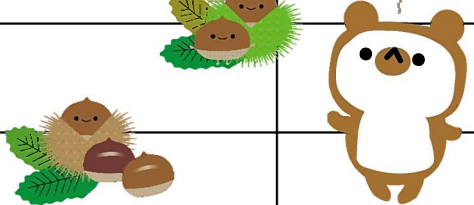
虚血性大腸炎は、病気の臨床経過により、一過性型（約65%）、狭窄（きょうさく）型（約25%）、壊疽（えそ）型（約10%）に分類されます。一過性型では、虚血は一時的であり、食事制限、安静、点滴など内科的治療でほぼ完全に治ります。狭窄型は腸炎によってできた潰瘍が治るときに大腸が狭くなるもので、発症から1～2か月後に腸閉塞などを起こして手術が必要となることもあります。壊疽型は、大腸の血流が再開しないため腸が腐ってしまう重症の腸炎で、腹膜炎などを併発し、緊急手術が必要となります。虚血性大腸炎の治療は、一過性型や狭窄型は原則として保存的治療を選択します。腸管の安静のため絶食にして補液や抗生物質の投与を行います。一過性型は、約1週間程度の治療で軽快します。

虚血性大腸炎の予後は、頻度の少ない壊疽型では死亡率が50%くらいあり、生命の危険がありますが、病気の後半を占める一過性型や狭窄型は生命の危険は少なく、比較的再発も少ない病気です。再発予防において、便秘が原因となった方は食習慣の見直しや適宜、緩下剤などを使用して便秘を改善する必要があります。また高血圧症、糖尿病、虚血性心疾患などの方は、これらの治療の継続が必要です。



施設長 越智祥隆

9月行事予定表

	曜日	午前		午後	日	曜日	午前		午後
1	日				17	火			
2	月				18	水			
3	火				19	木			
4	水				20	金			
5	木				21	土			
6	金				22	日	秋分の日		
7	土				23	月	振替休日		
8	日				24	火			
9	月				25	水			
10	火				26	木			
11	水				27	金			
12	木				28	土			
13	金				29	日			
14	土				30	月			
15	日								
16	月	敬老の日							

秋の七草：萩・尾花・葛・撫子・女郎花・藤袴・桔梗



夏の暑さが続き、秋の心地よい風が待ち遠しくなってきました。

9月といえば、お月見やお彼岸、この季節は夜の時間帯が長くなることから、『長月』や『秋の夜長』と呼ばれています。夜にゆっくり時間ができ、この時期の『月』が美しい為、お月見という風情溢れる行事がたのしまれています。また、防災の日も9月です。南海トラフ地震発生の可能性が高まっているため、日頃から備えをし、冷静に対応できるようにしていきたいと思います。



施設内は、ご利用者様、職員の身体を守るために『感染対策継続中』です。

8月には、施設内でも新型コロナウイルス感染症の発生がみられ、ご家族様には、ご心配とご迷惑をおかけいたしました。介護施設は、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、胃腸炎など感染症の発生リスクが高く、集団感染となりやすい環境にあります。日頃より、体調観察、マスクの装着、手洗い、換気、消毒などの環境整備への取り組みを継続しています。ご利用者には、不織布マスクの装着(1枚/毎日交換)をお願いしています。ご自身で交換できない方へは、職員が介助し交換しています。引き続き、不織布マスクのご持参をお願い致します。



面会時のお願い

面会時はお互いにマスクを装着し、飲食は禁止しています。発熱、咳、体調が悪い、感染症の方が身近におられた等がありましたら、面会はお控え頂きますようお願い致します。

面会中、席を離れるときは、必ず事務所内の職員へお声かけ頂きますようお願い致します。利用者様、お一人になり転倒・転落事故の発生がありました。ご家族様、御利用者様の、面会時間が楽しい時間となりますように、御協力の程よろしくお願い致します。

業務課：石田





さんとぴあ号担当：石田・井上